

(仮) 道の駅いしかわ通信

【発行者】
石川町 道の駅準備室
TEL 26-9155(直)

「創刊号の発行にあたって」

石川町長 塩田 金次郎

本町は、少子高齢化による人口減少が進み、このままでは、町が活力を失い、衰退の一途をたどります。この人口減少時代の中で道の駅整備により交流人口を増加させて地域活性化を図り、人口減少を止めている自治体もあります。

私は、交流人口増加の起爆剤として町民の皆様とともに道の駅整備を進め、町民の皆様が誇りと歓びを持てる石川町を作り上げていきます。

そのために創意工夫を凝らして、効率的で効果的な道の駅整備に邁進する覚悟です。

道の駅は「地域振興の拠点」

来町者を町内各地へ
誘導する仕組みづくり

地域資源を活用し交流人口
の増加を図ります！



観光振興



地場産業を元気にする
仕組みづくり

6次産業化や特産品開発、
地場産品の情報発信等で
地場産業を元気にします！

産業振興

道の駅開業までの流れ

今年度

市場調査

基本計画

運営予定者の選定
各種調査

設計

工事

開業

【これまで】

平成30年に石川町議会から、道の駅整備の政策提言書が町に提出され、令和元年に道の駅整備検討委員会を立ち上げました。その後、先進地調査や町民アンケート等を行い、基本構想及び基本計画（案）を策定しました。

【今年度】

市場調査（サウンディング型市場調査※）を実施し、基本計画及び運営予定者の募集要領を策定します。その後、測量等の各種調査及び運営予定者の選定を実施します。

【来年度以降】

設計、用地取得、各種工事等を予定しています。並行して、運営方法等の検討を運営予定者とともに進めてまいります。

※サウンディング型市場調査とは

道の駅の運営に関する市場性を調査するために、民間事業者を全国公募し、対話によりアイデアや意見をいただく市場調査。

サウンディング型市場調査「事前説明会」の開催

令和3年5月13日（木）に道の駅整備事業に関するサウンディング型市場調査の事前説明会及び候補地見学会を開催しました。参加事業者は、民間事業者6社（県内2社、県外4社）でした。

今後、6月17日（木）にサウンディング型市場調査を実施します。既に参加募集は終了しており、民間事業者6社（県内2社、県外4社）から参加希望がありました。



事前説明会の様子

※サウンディング型市場調査は、道の駅運営に関する市場性を調査するものであり、運営予定者を決める調査ではありません。

Q&Aコーナー ～道の駅整備事業の疑問に答えます～

Q1 このコロナ禍で道の駅事業を進めても大丈夫なの？

A1 このコロナ禍により、人口の集中する都会から地方への流れが確実に始まっております。短期的にはコロナ対策の各種事業が最も重要ですが、アフターコロナにおける急速な地域経済の回復のための施策として進めてまいります。

Q2 道の駅の運営は大丈夫なの？

A2 本町の道の駅は、他の道の駅のような行政が出資した第3セクターによる維持管理・運営ではなく、道の駅等の運営実績があり、このコロナ禍の状況で安定経営を実践している民間事業者が運営等を行う想定をしております。

Q3 道の駅整備にはいくらかかるの？財源はあるの？

A3 現時点では、場所が決定していないため、地盤改良、用地取得費、補償費等は算出できません。それらを除いた事業費（建設費等）は、約6億5千万円を見込んでおります。なお、道の駅の整備費は、想定される収支から逆算し、過大な整備費とならないよう運営予定者とともに整備を進めてまいります。

財源は、国交省や農林水産省など様々な交付金や交付税等を活用し、町の財政負担を極力減らす方針です。

【編集後記】

このたび、(仮)道の駅通信を創刊する運びとなりました。道の駅整備については、町民の皆様からの期待の声がある一方で、コスト面や運営面での疑問等があることは承知しております。

本通信ではそれらの疑問等に答えるために、不定期ではありますが発行してまいります。